

令和5（2023）年度 伊丹市一般廃棄物処理基本計画 年次レポート【概要】

1. はじめに

伊丹市では、平成30(2018)年3月に、令和9(2027)年度を最終目標年度とする「伊丹市一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。本計画では「市民、事業者、市の三者協働による未来へつなぐ循環型都市の創造」の基本理念のもと、ごみの発生抑制と再利用を推進するため“2つの減量目標”と“4つの個別減量目標値”を設定し、基本理念の実現に向け“36の具体的な取り組み”を掲げています。

本報告書は、計画の着実な進行を図るため、令和5(2023)年度における減量目標・個別目標・取組状況について、とりまとめたものです。

伊丹市一般廃棄物処理基本計画の概要

□基本理念

『市民、事業者、市の三者協働による未来へつなぐ循環型都市の創造』

□計画期間

平成30(2018)年度～令和9(2027)年度[10年間]

□減量目標

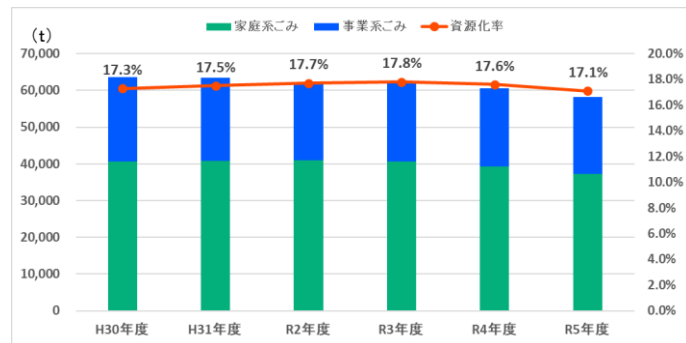
[発生抑制率] 令和9(2027)年度のごみ発生量を平成27(2015)年度に比べ10%(6,649t/年)抑制します。
[資源化率] 令和9(2027)年度の資源化率を18.5%に改善します。

2. 進捗状況

【一般廃棄物処理基本計画と実績】

目標項目	計画年度	平成27年度 (基準年度)	令和4年度	令和5年度		令和9年度 (最終年度)
		実績値	実績値	目標値	実績値	目標値
総排出量 (t/年)		66,603	60,483	62,194	58,156	▲2,327 59,954
(内訳)	家庭系ごみ (t/年)	42,959	39,298	40,233	37,325	▲1,973 38,834
	事業系ごみ (t/年)	23,644	21,184	21,961	20,831	▲353 21,119
最終処分量 (t/年)		7,727	6,569	7,107	6,240	▲329 6,796
1人1日あたり家庭系ごみ 排出量 (g/人日)		570	546	549	520	▲26 531
発生抑制率 (%)		—	9.2	6.6	12.7	3.5 10.0
資源化率 (%)		16.6	17.6	17.8	17.1	▲0.5 18.5

【総排出量と資源化率の推移】



3. 主な取組事項

リユースの促進



令和6(2024)年4月1日から始まる粗大ごみインターネット申込みをひかえ、利便性の向上による粗大ごみの発生抑制のため、令和6(2024)年3月13日に、(株)マーケットエンタープライズ並びに(株)ジモティーとリユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定を締結しました。

市のホームページで「おいくら」「ジモティー」の利用方法を紹介し、リユースを推奨しています。

市内一斉「てまえどり」アピール

令和5(2023)年10月から始まる食品ロス削減月間に、市のマスコットキャラクター「たみまる」デザインの啓発ポップやポスターを使い、お買物をされる消費者の方に「てまえどり」を周知いただけるよう、市内のスーパーマーケット16店舗において商品陳列棚等に掲示いただいた。



フードドライブ

食品ロスの削減に向け、令和6(2024)年2月15日に市役所1階の市民協働スペースにて、市と地域団体との共催事業として、フードドライブを実施しました。たくさんの方にご協力をいただき、ご家庭で余っているお米や菓子類、レトルト食品など約120kgの食品が集まりました。



集まった食品は、市内において支援を必要とする方や福祉団体・施設、子ども食堂などへ届けました。

令和5(2023)年度は、地域団体と地元企業(尼崎信用金庫)がフードドライブを合同で開催。未利用食品を食料の支援が必要な人に届けるための取り組みとして『フードドライブ』は市民生活や事業者活動の身近なものとして浸透してきました。今後も、拠点回収におけるフードドライブの周知活動に努め、市民や企業が行うフードドライブを福祉部局と連携して支援していきます。